

# 宮城県PTA連合会 健全育成委員会だより

発行日：令和6年11月30日  
 発行：宮城県PTA連合会  
 企画・編集：令和6年度健全育成委員会

※「健全育成委員会だより」は宮城県PTA連合会webサイトからダウンロードできます

「レジリエンス」とは何か？

「レジリエンス」は、もともとは物理学の用語で、「弾力性」や「復元力」を意味する言葉です。物体が外から力を受けて変形した状態から元の形に戻ろうとするときに、外からの衝撃やエネルギーを吸収し跳ね返して戻ろうとするという意味から、最近は心理学の分野でも使われ始めました。

心理学用語としての「レジリエンス」は、も達に、ぜひとも身に付け、高めて欲しい

「困難な状況、スランプ、挫折体験からしなやかに立ち直り、さらにそれをバネにして前へと進んでいく力」と理解され、「心の免疫力」や「メンタルの回復力」ともいわれます。

「レジリエンス」は、自分自身を守り、逆境を乗り越えていくための大切な力であり、幸福な人生を送るための基盤となる重要な力といえます。これからを生きる子ども達は、今後、様々な困難や挑戦に直面することも想定されるため、この力は非常に有用であると言えるでしょう。

## しなやかに強く生きる力を育む 「レジリエンス」について学ぼう

私達は生きている限り常に変化の中にいます。予期せぬ様々な困難や対応に迫られる場面に直面することも発生します。

子ども達もまた日々いろいろな場面で、様々なストレスに直面しながら生活しています。まじめで頑張り屋の子ほど、自分を責めたり、至らなさを感じたりして、気持ちが沈んでしまうことが多いかもしれません。このような現状にある子ども達に必要なのは、「ストレスに負けないしなやかな心」「困難を乗り越える強さ」ではないかと思うのです。

そこで、令和6年度健全育成委員会だよりでは、「しなやかに強く生きる力」の育成につながる「レジリエンス」について取り上げ、子ども達の生きる力を育むため、保護者としてのより良い関わり方のヒントを探ろうと考えました。

## レジリエンスを鍛えよう！ おすすめの本の紹介

親子で育てる折れない心  
レジリエンスを鍛える20のレッスン

久世浩司著  
実業之日本社発行  
255ページ 定価1300円+税

レジリエンスについて解説しながら、20のワークシートを掲載。それを親子で実践することで、子どものレジリエンスを高められる内容になっています。レジリエンスとは何かからその解決策まで兼ね備えた実用書！



折れない心 しなやかな心  
をつくる レジリエンス

小玉正博監修  
合同出版発行  
128ページ 定価2800円+税

イライラ、つらい、悲しい。  
怒りやストレスを感じたとき、どうしたらいいの？心  
が折れそうになったときどう対処したらいいの？マン  
ガでわかりやすく描かれて  
いるので、是非お子さん  
と一緒に！



イラスト版  
子どものレジリエンス  
元気・しなやか  
へこたれない  
心を育てる56のワーク

上島博著  
合同出版発行  
128ページ 定価1700円+税

困ったことが起きて立ち直る力「レジリエンス」。  
あなたのレジリエンスをもっと強くするための56の  
ワークブック。わかりやすいワークとイラストで楽しく  
学びながら、あなたの回復力を大きく膨らませよう！



教師のための  
レジリエンス  
折れない心を育てる、  
回復力を鍛える

中嶋郁雄著  
明治図書出版発行  
152ページ 定価2100円+税

学校の子どもたちとのよ  
うに関係を築き、鍛えてい  
くべきか。またその保護者  
や同僚たちとのように関  
係を築いていくべきか。教  
師を鍛える視点から、具体  
的な指導と対処について解  
説。保護者の方々も是非！

### 令和6年度健全育成委員会

委員長 笠原由佳  
副委員長 热海光太郎  
委員 鳥居恵理香  
伊藤伸浩  
若附恵  
担当副委員長 畑山和晴  
菊地忠久  
高橋禎毅  
ノバク・ジョーピッチ著 タカラ丸訳  
「ジョーピッチの生まれ変わる食事」

参考資料  
久世浩司著「親子で育てる折れない心」  
実業之日本社発行  
扶桑社発行

私たちが目の前の困難な状況と  
見守り、手助けが必要な時には  
タイミングを外さずに「大丈夫だ  
よ」と優しく手を差し伸べ、子  
どもが自分の力で乗り越えられるよ  
うに賢く導く、そんな保護者であ  
るよう自分自身の「レジリエンス」  
も日々高めていきましょう。

子どもが今回、保護者にも子ども  
にも必要な「レジリエンス」につ  
いて学びました。

子どもが目の前の困難な状況と  
見守り、手助けが必要な時には  
タイミングを外さずに「大丈夫だ  
よ」と優しく手を差し伸べ、子  
どもが自分の力で乗り越えられるよ  
うに賢く導く、そんな保護者であ  
るよう自分自身の「レジリエンス」  
も日々高めていきましょう。

力が「レジリエンス」なのではないでしょうか。

「レジリエンスが高い」とはどのような状態のことを示すのでしょうか。「レジリエンス」が高い人の特徴には、例えば、次のようなものがあります。

- ①困難に直面しても柔軟に適応でき、粘り強く対処できる。
- ②失敗やストレスを成長のチャンスと捉え、ポジティブな思考と感情を維持できる。
- ③過去の成功体験から自己肯定感が高く、自分の強みを理解し自信をもつて挑戦する。
- ④壁にぶつかってもいろいろな角度から問題解決法を模索する。
- ⑤困難を乗り越えるために、必要な時には人に頼ることを恐れない。
- ⑥失敗してもそこから学びを得て次に活かせ、失敗を恐れない。
- ⑦自分なりのストレス対処法を身に付けていて、心の健康を保てる。

反対に、レジリエンスが低い人の特徴はこれらの逆で、例えば、次のようなものが

のではないでしょうか。

### 保護者ができること

子どもの「レジリエンス」を高めるために保護者にできることは何かを考えてみました。詳しいことは専門書に譲りますが、日頃から次のようなことを意識して、子どもに接していくと、「レジリエンス」は高くなっています。

- ①行動の変化やサポートが必要なサインを見逃さないこと。
- ②過度に先回りしないこと。
- ③対話を大切にし、子どもの話をジャッジせずに共感してよく聞くこと。
- ④いつでも相談できる雰囲気を作ること。
- ⑤具体的な解決策を一緒に考えること。
- ⑥長所を認め、褒めること。
- ⑦小さな成功体験を積み重ね、共有すること。
- ⑧親自身の失敗談や乗り越えた体験を共有すること。

これらは大きく分類すると、「自尊心を高める」「自己効力感を高める」「人間関係を豊かにする」などの視点になるかと思います。これらの他にもあるので、皆さんも考えてみたり、調べてみてください。

- ①気持ちの切り替えがうまくできない。
- ②自分にも相手にも厳しい。
- ③悩み事を抱え込んでしまい、何事にもない傾向がある。

安で常に不満をもつていて、他責思考が強い傾向がある。

あります。

今は、子ども達がストレスにうまく対応できないことが様々な問題につながっています。  
子ども達は心身共に発達途上にあり、経験も少ないため大人に比べてストレスに対する適応力は弱い面もあります。変化に敏感で感うなことを心がけると良いのかについて、その方法をいくつか紹介します。

- ①ストレスを感じた時ゆっくりと深呼吸して感情をコントロールする。
- ②つらい出来事があった時には自分の感情や思考を言語化してみる。
- ③小さな目標を立てて日々達成感を味わい、小さな成功体験を積み重ねる。
- ④規則正しい生活習慣を大切にする。

子ども達が、これらのようなことを自ら意識して行動することや行動を変えていくことは、なかなか簡単なことではないでしょう。そこで大切なのは、保護者としてどのように子どもに関わっていくことが望ましいのかを理解して、実際に子どもに寄り添いながら「レジリエンス」を高めていくことです。  
子ども達がストレスといういわば逆境と対峙したときに、前向きな姿勢で柔軟に対応していくためには、「レジリエンス」を高めていくことがとても大切であるように思ふのです。

そのような時に、保護者が日頃からどのように子どもに関わるかが、とても重要なことがあります。  
子ども達がストレスといいういわば逆境と対峙したときに、前向きな姿勢で柔軟に対応していくためには、「レジリエンス」を高めていくことがとても大切であるように思ふのです。

## 子どもの課題と保護者の関わり

### ノバク・ジョコビッチ選手の レジリエンスマッスル

#### ④自己内省

自分自身を多面的に理解し心の柔軟性を養うために、日々自分の感情や思考を言語化することを習慣にしています。

#### ①自己効力感(自分ならできると信じる力)を高める

深い呼吸により心を落ち着かせることで、集中力を高め、ネガティブな感情をコントロールしています。

#### ②瞑想の実践

試合前に自分がどのようにプレーするかを詳細にイメージすることで、試合中の状況に対する準備が整い、冷静に対処できるようになります。

#### ③イメージトレーニング

試合前に自分がどのようにプレーするかを詳細にイメージすることで、試合中の状況に対する準備が整い、冷静に対処できるようになります。

